

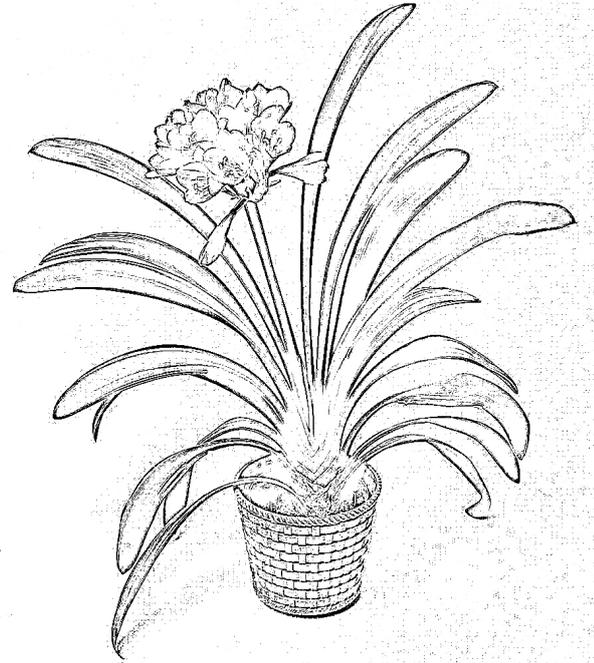


色彩館に咲く

クンシラン

Clivia miniata

ヒガンバナ科クンシラン属
原産地：南アフリカ ナタール原産



つややかな葉と花のコントラスト

クンシランは南アフリカが原産の多年草植物です。森林の半日陰地で水分の豊富な土地に自生しています。草丈は40～60cmで花は3月～4月ごろに朱色の花を咲かせます。時間がかかりますがタネで増やすことも可能で、個体差が大きい株ができます。最近では薄黄色や白色の花色を持つものや、斑入りの葉を持つものもあります。切り花としても利用されますが、一般には鉢物として花や葉を観賞します。日本には明治時代にヨーロッパを經由して渡来しました。ヨーロッパでは花が観賞対象とされていますが、つややかな葉を持つことから万年青（オモト）のように葉を観賞して生まれ、古典園芸植物にも分類されます。

クンシランの学名 *Clivia* は、植物学発展のために資金援助をしていた19世紀のイギリス貴族クリヴィア家出身のノーサンバーランド伯爵夫人を称えて名付けられました。また、洋ランのような艶やかな葉や太い根を持ち、名前にランと付いていますが、ラン科ではなくヒガンバナ科にあたります。実は、*Clivia miniata* の正式名称は「クンシラン」ではなく「ウケザキクンシラン」といいます。「クンシラン」

の名で流通していた *Clivia nobilis* という品種よりも華やかで、より栽培が多くなってきたことから本種が「クンシラン」と呼ばれるようになりました。

寒さに弱く、霜にあたるとすぐ葉が傷んでしまいますが、病虫害に強く耐陰性があり乾燥にも耐えることから室内で楽しむには育てやすい植物です。しっかりした株に育てるには気温が10度以下にならない5月～6月頃から屋外の半日陰、または木漏れ日の下で十分に水を与えながら管理します。肥料もこの時期に与えます。そして霜が降りる前に屋内に取り込み、凍らない程度の環境で管理します。暖房の入らない部屋のような、日中と夜間の温度差があまり大きくない場所が望ましいです。成長するにつれて子株ができ、鉢がパンパンになるので5月～6月頃に株分けか一回り大きい鉢に植え替えるようにしましょう。

色彩館では、冬期間暖房をつけているため一般の開花時期よりも少し早めに花を楽しむことができます。雪解けが始まり鮮やかな緑と花が恋しくなるこの時期にぴったりの植物です。



だんだんとぼかぼかしてきて雪も溶け始め、少しずつ春に近づいてきましたね。雪に埋もれたバラも姿を現してきました。バラを屋外で育てている人にとっては凍害にあってははいないか、とハラハラしますよね。北海道に適した耐寒性のあるバラなら多少は安心もできるのですが、冬囲いの仕方や雪の多さなど、その土地の気候の特徴によって結果が変わってくる場合もあります。北海道といっても様々ですからね。その土地その土地で育ててみてのお楽しみです。そして、当園では春先に凍害のチェックを行い、品種データをまとめています。それぞれの品種が環境に合っているか見定めて、植え替えたりもします。さすがにすごく伸びていたつるバラが凍害にあっていると声も出なくなりますが…。まずは、バラの耐寒性やその土地の気候を十分知ることから始めたほうがいいのかもかもしれませんね。



4月の誕生石は
ダイヤモンド♪

バラ園

ついに外の季節ですね。まずは雪囲いを外して状況確認。株元まですっかり雪が無くなるまでは、どうなっているかドキドキです。それからは本格的に剪定作業です。

色彩館

おまちかね！大温室のつるバラが満開！
今月下旬から見ごろを迎えます。本州の屋外のバラは5月から楽しめますが、ここは北海道でも外よりひとあし早くバラを見ることができますよ。是非お越しください。

花と緑の供給センター

花苗生産もいよいよ佳境、今月下旬ごろからは公園や町会へ出荷の準備が始まります。いよいよ嫁入り、嬉しいような寂しいような…複雑(^-^);
余った花苗は色彩館で販売します。

球根の話

によつきり。

雪が融け、庭や畑の地面が見えてくるようになりました。バラ園の宿根草花壇ではチューリップやアイリスなどが顔を出し始めています。

園内に植栽されている球根は、自然に生えている

ように見せるために、一つ一つ配置するのではなく、球根をばら撒いて植栽位置を決めています。一度に沢山の数を植え込むので、中には球根が横に寝てしまったり、上下逆さまで埋めてしまったりすることがあります。それでも翌春、間違うことなくしっかり地上に芽を出すという事は、球根も重力を感じる仕組みを持っているということですね。

よし
なし
ごと

文：MIZ



ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト：藤川志朗
(イラストレーター)

第二十五回

シュラブローズ

カクテル

Cocktail

作出国：フランス

作出者：Meilland

作出年：1957年

ハーディネスゾーン：Z4

繰り返し咲き性

交配：(Independence×Orange Triumph)

× Phyllis Bide



カクテルは、つるバラの中でも特に人気のある品種です。花は丸弁の一重咲き、花色は明るい赤色、底が黄色で、赤から黄色に変わるグラデーションが鮮やかで美しい花です。多花性で、バラらしい花というわけではないですが、その可愛らしく花容が人気要因のひとつでもあります。また、耐病性に優れ強健な性質なので、つるバラを初めて育てる人などにお勧めな品種です。2015年には世界バラ会連合殿堂入りを果たしています。書籍によっては発音を重視した「コクテール」という別名で記されていることもあります。比較的カクテルよりはコクテールと呼ばれることのほうが多いようです。

カクテルはシュラブローズという系統にあたり、伸長性が強くつるバラとして扱います。コンパクトで扱いやすく、トゲが少なく、枝の先が垂れ下がる形をしています。枝変わりのでピンクカクテルという品種もあり、カクテルよりも色味が薄く、同様にトゲは少ないです。

カクテルは、オードリー・ヘプバーンに並ぶフランスの名女優、ロミー・シュナイダーに捧げられたバラとしても有名です。彼女は1982年5月、バラの咲く頃に43歳という若さでこの世を去っており、同年にカクテルが捧げられました。バラらしくはないけれど、とても華麗なカクテルは、激動の人生を歩んだ彼女にぴったりのバラだと思います。彼女はお酒が大好きだったそうで、お酒にちなんだ名前のバラを捧げられて天国で喜んでいるかもしれないですね。

カクテルは、当園内の色彩館大温室で栽培されており、道内ではおそらく一番ではないかと思われるくらいに元気に大きく育っています。大温室内のつるバラは、もうはや咲いている品種もありますが、天候次第ではカクテルも早く咲く予感がします。花保ち・花付きも大変良く、4月下旬～5月中旬頃には見頃を迎えますので、是非見上げるような大きなカクテルを見にいらしてください。

平成 28 年度

作業ボランティア募集

岩見沢の市の花は「バラ」です。

市民の皆様にもっと親しんでいただけるバラ園になっていきたいという思いを込めて、作業ボランティアを募集しています。

バラについて少しずつ学びながら、バラ園と一緒に育んでみませんか？



お問い合わせ先

TEL : 0126-25-6111 (室内公園色彩館)

URL : <http://www.iwamizawa-park.com/volunteer/>

Eメール : info@iwamizawa-park.com

4月の市民園芸講座のご案内



- 4月10日(日) 13:00~15:00 **ハンギング作りの基本**
料金 : 1,500 円~ (容器代は別途 2,000 円) 定員 : 40 名
講師 : 梅木 あゆみさん 月形コテージガーデン
月形コテージガーデン生産の元気で丈夫なパンジービオラを使用してハンギング作りの基本を学びます。
- 4月17日(日) 13:00~15:00 **庭木・花木管理の基本**
無料 定員 : 40 名 講師 : 川原 元信さん 有限会社川原花木園
庭木のお悩み解決! 基本をもういちど見直してみましよう。
- 4月23日(土) 10:00~12:00
ばらゼミ②~どこで切ればいいのか? バラ剪定の基本の『き』
無料 定員 : 40 名 講師 : 工藤 敏博さん ローズグロワー
枝の見極め方や樹形タイプ別の切り方など、わかりやすくお教えします!
- 4月24日(日) 13:00~15:00 **家庭菜園を楽しもう**
無料 定員 : 40 名 講師 : 大道 雅之さん 拓殖大学北海道短期大学
家庭菜園の土の簡易土壌検査を実施します。
10cmの深さまでの土を 100g 持参ください。お帰りの際に結果をお返しします。